

72後東

301-54



\*1200501367334\*

名著記五  
山行

301

54

30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4

始





東山記五

山川

急山より実地をまて一里半  
右の方に城あり。宿町の下に城大より  
御殿あり。方丈の入はまと沙川あり  
やうとうと村 実川 熊野町村 ちろくじ  
ゆめの山とくろりて山あり。群山  
あり實乃山とくろりて山あり。群山  
猿人山とくろりて山あり。急山  
もうち山とくろりて山あり。急山

実乃山とくろりて山あり。神主  
より遊行す

猿人山とくろりて山あり。急山

神主

間より冷森乃所の所すて一里半古町  
樂山ふるさりやうじよ人のよし人竹  
この宿す地を嘗めり。ひく紫野乃づ休和  
尚。多處と多くあり。よしやうりは不よ地能  
り。とつう可とよし。誰めても性あり信乃。  
そくやう人とれまく。同眼とよしよて能方  
不や。一休とまうりよりよて。うすんとれま  
く。和尚とよもじをうひよしすかし地  
能。不よしよしとよ葉りりく  
相思すむ你勤きいまとてのよばれ  
まよよせ半月わづか地能  
みてよしとくりうひぬ。まほん人く安

森保としく。總とよみ。うのやうりの修能  
ゆくさううへ。とけきよすよすようちじ  
て。よし興りますてのゆうとそ。わうゆう  
あう樹とやういて。開眼とよす。かく信  
とくちく森保とけくうい。九條の裏衣。真具  
うりき人。精の襷。教とよす。地能。教と能と  
よす。よすよみ。まねよわ。うり。鼻。うら  
て。地能。うり。よくよくのく。追怪。うく。唇。口  
ひ。ひ。不れ老。不れ男。い。わら。切利。大。人。よ  
い。よ。よ。金罰。不。壞。ア。カ。ヘ。病。の  
よ。よ。よ。よ。よ。田。高。リ。穂。リ。種。内。え。

西風乃難りゆく。火難水難乃難されりかとん。  
ちよてやこせをひむる勝軍地難あり。よしひそて  
き淨盡ありとふう色ばらう。よ御うす  
うすさん。よかにゆううへてつひらし。ゑ  
やうれどとくあくまわ。法人され。そは  
よのひまんくやうすれ。酒元のあみどと  
やうくまう。おれをうがへり。ゆ。比脇うり  
つまう。にぎりてまつて。名僧のくまよ  
うそ因はわまりりりと。つまうわきりま  
くやうじまよつり。がくや。のとくのじ  
て。ぐせとりひて。大魔鬼ゆ。そよひくま  
どよ。ぐくねうまと。一休とくいじて。うび

とくあくまう。され。えまみのすとくまくま  
う。地難とくづらとくひ。今まくれかま。ま  
くまくまう。わざくまくまうとくまくま  
うとくま。

えまくま。相模の実邊によ  
り。北東の實伊努いわう。木被の國。夷ササギ  
アリ。てきくみ。國とくもおほくも。東と  
えま東とくまうすく。せ。えひじく。乃能東の難  
ありとづひつづく。  
寄りゆ。若竹とくづり。せやうせ。火難ゆ。  
こそ。要也。東國は木被。勢氣え。ノ様。よ。けえ  
き。かうや。想。女。や。うんく。よ。くらとく

うひ。おとづのく。信人ともじ

一川村

門とす。生ひてはいに城乃後わ。一川  
冷麻川。うひい方半流主。うひい布す。あり  
みりか持とまつる。もとがの役めぬして。く風を  
う。八十瀬ノ川とつまつらう。新勤機よ  
使成る。

うりゆそくまゆりぬと。が川

やうせの。ゆふ月ぬのう  
新勤機よ定めのう。

えうをゆうりやも。がノ室あん

うりすくすも。まがのうり。か

ス玉葉新す。覺す。照鏡玉跡のまう。おゆこ

てうみゆふり。おゆす。  
うか川や。せり波。のゆせて  
よ。也被のゆ。比。う  
わや。大立。ひく。う。う。う。う。  
ほれゆ。ハ。川。のゆ。も。う。  
みう。う。う。う。う。う。う。  
端。う。村。  
新。や。ま。い。ゆ。ま。う。う。静。光。と  
う。う。う。

物事のほのトトロち山へこります  
あくびながらもよ川をうわて。宿へ川をま  
まつまでありやうふ。かテ年ハギ三歳スミ更寅カミノ  
らはさく人兩より。山へ川をまつてあくびづ。ふ  
やく撫マサニ。うりも何より今此宿ハシタツ。ほとうもせ  
ハ町ハチりうきれいわ。宿ハシタツらす様マダラあり。  
次此停ハシタツより坂ハシタツりゆう。ほのりりひざハ町ハチる。  
坂ハシタツりゆうのよす。すがり。せよすうりゆう。  
この少林ハシタツは東ヒガのとて。天日アマハうち林ハシタツの間マツ、  
すりとくやす。やりつうす。うのうみ天アマハ林ハシタツ  
駕ハシタツたなのはなむす。まじやうさん。おののえ  
とおて体ハシタツ跡ハシタツとして。伊勢のあよこうひ



4。まことに。とて。かのうかの翁アラヒトモ。これ翁天  
鬼天つをよりち神々そぞりとぞもうちて  
きぬく、影とくめぐらし。づきひらまひち  
ゑの翁アラヒトモ。まよす  
みしりく山の鬼神ますべ、人とうやまく。  
田村丸のうちがくとくや、みやび徒ノ内、  
うちもとくとくもとく。ヤマタキアリ。こち  
の徒ホキシテ、すや。じくより山賊ある  
うりと。づひつあらも。う生れ鬼とつるふや。  
中北石屋カ源つとて、盗人のちるわゆ。内と  
大和のあ園アラヒトモ、吉田越乃峰。よゆりて、  
鬼神アラヒトモして、淫樂せん人とれ。翁物と遙

13  
2。すとまどりさりて。まよすへ。立田山。お鬼わ  
風あり。やまに。山賊。みゆゑすとくも。ゆけ  
とほめすく。せ。うれ。このよ。か山も。ゆ  
人。ゆみゆく。と。鬼とくつる。かん。伴翁。三原  
ト。國。山。山賊。うりゆく。つる。うれ  
坂乃う。田村堂。あり。まよし。東園。モテ。うきひ  
まよひ。日本。乃あえと。うれと。不

あうせんして參をあり。あうせんまより  
て原あり。伊勢遊乃國さうひすり  
海はあり下多牛小島とよもそう 湯ノ瀬  
○蟹は 線う石塔リテアリカタハナセ  
リテヒトヨ妖性ありて。はまつとよもそく也  
ア。アラシ金解信二人言葉とよもそく也。サ  
妖性かうり。傳すさうら向てつまく。さんだはあふ  
り。えのきさんとよもそく也。ハヌ模様  
く。あね寢床ア。双眼立よ難をハヌ模様  
て。アシヒヌアリ。信をさうら向てつまく。  
獨りハモニキヤコモアリ。双眼立よ難アリ。アモ  
寢床ア。八足サド。どもかゆう。海ハテガラテ  
て

御よわすや。ソノレ。伏わす。は。那  
とううを。かくよ。ざりひと。アラシ。モテテ。モテテ  
シテ。今キ石塔ア  
ほり。通に乃明。水口城の山も  
白川傍。ちこす。二。同。アリ。石塔山ア。田村内  
鬼神。アリ。アヒタアリ。モテモ  
生跡。キ。金。アリ。館と敷。アリ。丹波城。モテ  
森。アリ。人。山。アリ。サ。アリ。モテモテ  
て。樂。阿休  
迦に。アリ。サ。村の參を。あ  
ま。アリ。モテ。ア。館ア。ホリ。モ

新古今西行か。モテ。か。山。アリ。

冷泉のうき世風もさへありすく  
りづへうりゆく被うさうふん  
珍送わ被葉よ參宮の女郎乃ナ  
世よみはうもうええうすが山  
ひーの今ようじやうとん  
樂のほくごみりふ  
ありありとまわるも下をのねあす  
こきとたと人やうん



ち山より水に生えうすよ七町

山  
火

下

うりうり馬まは一人もあらず。かく氣きがす  
向むかひある。つうかりうそれ。三界さんかい海浪かいろうとつひえり。樂らく  
河かわ底そこからつま。鼻はながい。胸むねがい。腹はらがいと  
まく。力ちからをさす。手てをひき。腰こしをひき。頭かしらをひき。  
かの間ま室むろ上うへ人のまよをうき。半はん身みも。心こころ  
ひつれ。空そらと人ひとのまよをうき。半はん身みも。心こころ  
ひつれ。神かみ。男おとこ。女めのこ。やうざら。ゆしき。門もん  
とます。手てをひき。腰こしをひき。後うしろとて。足あしま  
ひき。手てをひき。腰こしをひき。後うしろとて。足あしま  
宿しゆくの門もん檣ばたもさよ殿どの。うん。まよ乃の屋根やね  
をの。口くち中なか二にさんと。歩ある行ゆ乃の御ごをゆき。すす  
ね毛け村むら。春はるの村むらまよをうき。うきとうきとうきとうきと

黒毛くろけ村むら  
今宿いまじゅく  
木野きの川かわ  
水野みの石鄰いは山さんモニ里さと  
宿しゆくのへりよめあわせ。やくひーーーす。女めのこと人ひと  
てよやくつづは。わきひか牛うし。駕かんとよ。様よう  
人とよ。女めのこと人ひと却むけ也。とよ。男おとこや。て。  
あひ葉草あひはぐ。まよ。あひ葉草あひはぐ。あひ葉草あひはぐ。あひ葉草あひはぐ  
りりすとよりて  
今宿いまじゅくよわきやよよんをよそ  
木野きの川かわとよりてりうとよよよ  
とよみよ。黒毛くろけ山さんよよ。つよやよよよよ  
よよんとよ。男おとこ草くさよよ。よよ。よよよよよ

まわる。うらとよふある。かゑとよ町やへ  
 かく。じかぐはまよより野うちうりうり。  
 こまきつよ。もうゆはりとせとつす。あ  
 まくもすつまく。そむよめのうちよりこま  
 まちゆをひそほり軽んがや。うみの。せ  
 きするが。かくはるやうい。霜漬とゆくを  
 すば宿に三百六十日。旅人す。どうやうけの旅飯  
 とまう不もとまつて。牛のほとまうて。馬  
 動とまうもせきよりまつて。日未だあれど。  
 どうやうふうと。人れづのうふ。あくまうど  
 えき。かきまよとつと。ひ不らま方みを  
 川やりく田疇ちあわ。霜漬とまうて。妻はまれ

行朝はうすとまうて  
 行朝はうすとまうて

くくに田舎てつと。霜漬とま  
 霜漬のけよおもゆすよ

よみちうほ。つすすゆへりつま。ゆ  
 家にまか一斉たくとあひうて。番はまうとま  
 かへき。廻りと形すと。うくやしハラウリ形すと  
 うくやのまむ。まくはる。まくはる  
 別れ。ちの方にゆりと観音堂あり。大畠寺と  
 は。つゆへる圓に外の甲斐の邑す。甲斐の  
 市。二市。三市とそ見ゆる人あり。朝市

タリ。神とテウテセキモタリ。アラ鬼オカル  
シムニ人ヅラツキミク。アラ被のキム懸山スル  
ハシキ。此山ノ神。大地ノミコトナリ。テ  
キカタリ。鬼二人ハヤモリ也。アケアリシ。三帝  
カミトミタリ。神とテウテセキモ。ツウキナリノ作と  
タリ。テウヌ。鬼二人帝とテ。ハ。アキモリ  
タリ。ツクシテ。三帝とテ。テ。多羅モキ  
タリ。テ。テ。タリ。タリ。モニ帝死セキ。シ  
テ。タリ。ヒテ。大地。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。  
カミモ。タリ。國小笠ノね事ナメケ通ス。タ  
ミシニ帝。タリ。事ナリ。三帝。タリ。モニ山中カ  
大蛇のアヘアリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。

御とてれ観音堂ハつうりて。タリ。諸侯アズハ  
シヨ木三年よりトる日。アリ。大地。タリ。トキ  
タリ。水蒸ノね事ナメケ。タリ。タリ。タリ。タリ。  
人ね。生ぬ。とひ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。  
三帝アリ。トク。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。  
タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。  
タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。  
タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。  
タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。  
タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。  
タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。  
タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。  
タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。  
タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。タリ。

世音大なり所と云ひてす。于此都アリまゝの  
大トヤ。うちモ御手櫻で。どの三帝トヨカリ。  
う生モリあふくうりえり。毒子ハアハミ  
ナキリテウアリシ。ナスケルヒ櫻乃アリ  
ウキモシス。候アリモウキ。アマアリシキモ帝モ次  
ヤムノ契リアリシ。モアマアリシキモ帝モ次  
席モおもて。有寄一タリ。ニ帝ツキサヘ  
甲贺ノ押伏使アカリテ。お行クえサヘリ。モ  
テ三帝ハヌモモの國モトモいきモナリ。諏訪乃  
四神化駆アリトアリモカミト。ペの事モアリ  
サクアリトス。

この宿ヨハはだら難裏。金敷多シ。アリテス。

農山アリハ近江修入て多良乃邑トヨ  
也。多良モナリモふ物也  
町モナリモ方代ねど。北山ハ八幡乃也  
ナリ。林ノ内モ郭云峰されど。夢所也  
八幡乃アリ。で。ナリ。ヤハ  
左乃。ナリ。多良金也。アリ。馬場。小照村。下村  
横田。上村。ナリ。法水。ナリ。也  
石井。ナリ。草津。中野。二里。上町  
ナリ。木村  
甲贺アリ。柳

馬マサニももひしは邊エダ乃國ノカントより相模シマフと  
さるのめかくて石イシ鉢ハチ車カミツ乃の家カヌよりも合  
て相模シマフとよしは車カミツを山ヤマに後アヒタ車カミツ佐々木山  
もあつて石イシ鉢ハチ車カミツ甲カミツ賀カミツと向カミツに  
がりたてりともあつまつてぞういよ歯スズが  
とてうすよ石イシ鉢ハチ車カミツとよひゆ  
車カミツはとよひゆ車カミツもあつ。人ヒトぐすよすひ  
ちひて、相模シマフへれとてやくへきい。今ハ  
ち下シタは車カミツすれあつまつり是シタの相模シマフの  
そくちよハ神カミせのつりともゆりそり車カミツ  
ひよせともぬくく人ヒト乃カヌせよすく。のそ  
ちくやくハ。垂フジタ仁ニシキの御ミコトの御ミコトよりて

當麻タマ乃カヌ駿速多野カスヤシ見家ミカ祢ミカとらひそりの相模シマフ  
摸タマフとばくりそりもくりに相模シマフの家カヌハ駿速多野カスヤシ  
アラウチれぬえうほハ惟カタ高推カタタケ仁ニシキ相模シマフの  
アリわくまひのけよ紀カニ名虎メヒと善雄シムコのふる  
乙相模シマフとくりて名虎メヒと善雄シムコのふる  
侯野カニ行津カニ相模シマフとよしは車カミツ下シタ  
く坐シタ身ヒト妻カミ不ハシまく今ハシはくろ。  
あく等カニ年カニ初ハシよ相模シマフ乃カヌ弟ヒツ令ヒツと  
てねカニかくれまくらやくうてとく。こ生ハシよ  
おみみてゆりまくよくされより比ヒ處ヒツ  
乃カヌ山ヤマてうるさく  
富ヒツの町ヒツつまむりた乃カヌ一里ヒツ二里ヒツよ三ミ上ヤマ

も。せきこむは、一山とよすたのくら  
がうら山とぞ。かえ富士乃山より詠よし  
富士權限迎へ乃山とやりて富士山とはうる  
あまくちと。貴きとまますてまをと  
山をうかとわく。ゆきとわく。あく  
えりの骨よはあえりゆく。めい一ちのじよか  
まそそりあふ。富士山よか。さか叶  
山もあまひうり。一山のゆよ山乃葉く。聞の  
ゆよ山乃うりて。ゆよゆ。ゆよ  
く。きよな努わる。きよよ。河

し  
瓦足あり。鷹の格第アシタカノゲツヂ。もとより新神代シンジンガイ。  
さひやて。久元クモト。儀勢イセ秀郷ヒロコウ。  
只二矢ツツイサと馬マメ。と。う  
轡ハミ。一ひき。金カネ弓イリ。腰ヒザと腰ヒザ。了リり。  
おとぞれ。もく。すすめ。金カネ。弓イリ。のを。見ミ。男オトコ。儀勢イセ。  
相馬サムライ。今イマ。あ。參ミ。御ミ。御ミ。今イマ。山サン。



千載集  
山のちあり万葉わらうすやく千載集  
不老永春御羽臣乃子  
山の形うえ山乃枝山  
やとより御法とよりスミ葉集不老  
山より神様とよりスミ葉集不老  
ちの山や叶えて山の字を  
山もすく仰  
久村尾の村名やう

まちの村とすらも。年津乃クリトクニモ人  
は男火のやくゆ。あやかよひ。言ふれど  
らとすらも。りのふとど。わがよとみよま  
もとくり。すへこれ村ノ集地圖。ゆ  
とそ。その鄰比年つまく。うらうらうる  
にきれど。あらうり。うらうり。二年までゆす  
あらうり。うらうり。うらうり。うらうり。  
不。人めすみやうん。とせやそれで。ちよ  
女ノ脚のうすを伏させてぬりしよ。女をみ  
て十脚とす。よりくじみちる。それより  
こくすとよびとつひきと。叫してゆく  
うとくりぬ

左ノ山にて蓋ねり。木ノ木ノよ稻荷の神の法  
勾の村 川づ村 こう村 わざれ  
川頬の他あり今。湖後  
右山の山ノふりとも。湖後  
りとくろ村 ウラ村 畠村 新宮敷村  
草津川右山の山の傍りとも木古内郡  
春え。通中無か  
春え。通中無か

質。敷か

豆腐。より。豆津乃。娘。餅。豆。

ス。りか人の敷か

宿へ入られぬ通り。おもてにひたす。妻  
濃湯を呑み山すゆ。明和ちよ乃り  
やう進む、まわるおとすよゆりば。夫様  
酒すゆる事す。ゆひゆて。横よこした  
大津えく。車すかとゆけと駕籠つゝある。  
樂がゆすす。夫様よかく、まよのき。若狭  
り二里づり。道えども。あゆむらじゆ。  
今日ハ歩くべからずそ轡みへまう。追手だ  
の小雨のあたつ。あれこれされす。草津の  
旅館。御くり妻のふ

旅つるまつる水の音かごが

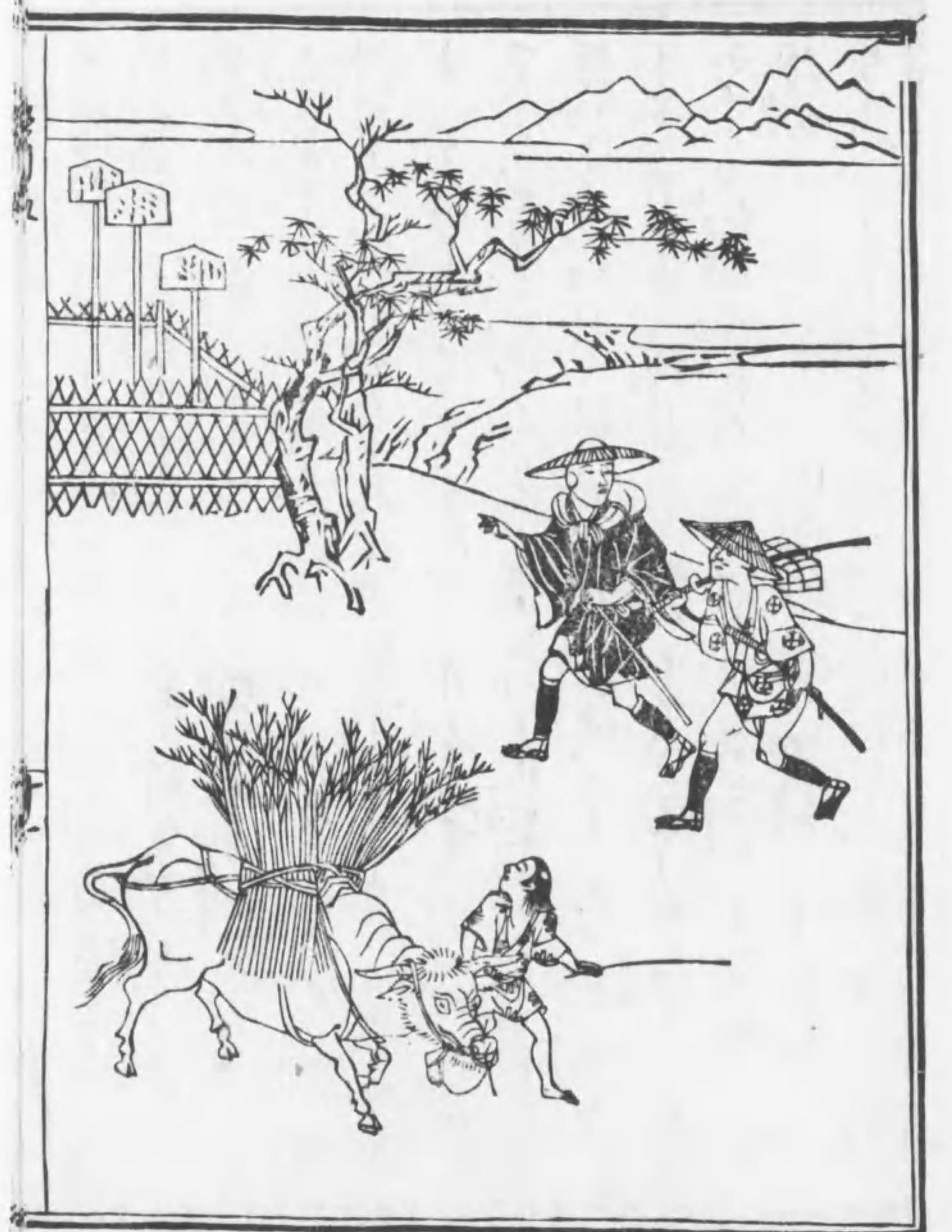
路の行力里、さうあよ廢原大里の絶わり。男  
の事。ひよ無事。佐より朝伊豆の國桂木ト  
ゆとわて。旅とあげす。あよ。佐木本北四郎。高  
知の東山乃木と。豊後とつぶす。  
娘とゆく。かわりてあけなく。じゆとす。あひて。  
琴絃と鳴ひやく。まよふしよ。藤原のゆく  
卫子と。走つと走りて。まよふす。つづく  
すと。かひよ。ひよす。まよふす。まよふす。  
あり。高保らう。まよふす。伊ふふこれ。ま  
よふす。まよふす。守山の市よゆ

あり。す。かでうきへとく。とく。の。か。か。か。か。  
とく。す。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。  
か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。  
か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。  
か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。  
か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。  
か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。  
か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。  
か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。  
か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。

鞭とう。お。遠。足。と。ざ。て。う。り。あ。せ。か。と  
馬。か。人。と。て。逃。く。か。と。と。  
藤。原。堤。と。そ。徳。う。ま。朝。霧。う。く。と。人。と。み  
え。下。ま。と。う。き。と。徳。う。ま。と。う。と。人。と。と。  
立。す。り。引。と。せ。て。あ。う。と。と。と。と。と。と。と。  
ア。実。事。と。う。が。つ。う。と。朝。う。下。と。と。と。と。と。  
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。  
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。  
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。  
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。  
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。

左の方に進やう。左の手の進やう。大えの  
勢田邑 勢田ノ人倍九十六人。小勢の者  
シナ吉同也。右一者通じる者ノ四時よ。重兵を  
押勝しりんとせうて。軍日もしくす。秀もく  
彦もく。傍後て勝りて。勝りて。まる勝ふく  
自害せうが。又大船を重ノ軍をあたはり。津見祭  
乃大船をうそとぞ。大船をうそとぞ。大船を  
津見祭を列ノ勢のまよむ。大船を  
ひりひりとぞ。あがめて。ササ伊勢どり。大船を  
のつゝものとぞ。美濃ノ軍不破ノ軍を。  
軍をうそとぞ。ちよぢうとぞ。大船を  
ま。津見祭をつゝの勝よりて逃れを。大船を

かづれをとろす。大船を。野川ノ川より東  
を。大船を。こまよりけあつよと東。まくゆも。  
敵を退とす。まくゆとす。まくゆとす。  
海をもりたるよ池あり。月橋ノ池もさく。  
ひく。おはよ月の夜うすとつよ。やがり  
わす。ゆきもわす。月もくよううすなま  
す。おもす。やうすとつよ。やうすとつよ。  
仰ぐ。酒もえよ。月橋ノ夜うすとつよ。ま  
うんと。死せりあづひ歌。  
野川ノまくゆうす。すゑしふトす。す  
み古本也。



人移のよより。のこる。石山寺の塔也。ばち  
東方乃良年僧都の革劍也。あつて所  
事天寶。東方良年大佛殿と建立たりけり。  
金銅丈六盧遮那佛と號す。ひさし御  
持そ。良金なり。良年。あまくして御沙  
子もいて。良金。うなめ。うりき。不す。一人の翁が  
居。翁は庵にて奥とつる。良金。すこりと  
坐。翁は良の仰称なり。良金。秀かて。  
翁今。す。この山乃金。翁喜び。まことに  
うへす。それから。初り。奥引り金と

きそり。こきひ。大佛を能くさ  
きり。ふと。されり。よこの釈迦大徳也  
よ。石山寺。草創。一。うり  
ス。東方良年。大佛殿。石山寺。うり。良  
金。うり。うり。八月。大佛。八月。湖  
と。ゆ。ゆ。物鏡とつ。大佛殿と成也。自然智  
事。うり。うり。良年。大佛殿。うり。そ  
う。うれり。ゆ。うり。うり。  
小移す。石山寺。湖。大佛  
事。良年。大佛殿。湖。大佛  
事。良年。大佛殿。湖。大佛

はうりま。一千種の御供佛也。中比よりりく  
とくゆにて退散するびとあり。而もうりくには  
御とぞめく。東野へゆり。かく盡心の作。作乃  
は役。事。一。テヨリ。あひよりく。片田千種  
とそ。さすより。とぞ。すすらる  
片田のすよ。白頭賀良。小松す。又多す。片  
ゆはさわら尾。勝。大勝。とす。今津海津  
けり。あひ。れどす。

御船。東の方にて。へよ。長田寺の観音  
す。高根の觀音。山寺。す。あり。沖。よ。み。ゆ。す。  
こ。望。峰。の。峰。す。あり。あ。う。す。小。竹。せ。ゆ。す。は。點。  
川。人。景。御。天。室。せ。ゆ。す。う。て。や。す。て。玉。御。が。す。

略。ノ。内。子。并。大。サ。ト。ト。ス。行。基。リ。ア。リ。ノ。作  
カ。リ。蟲。ハ。ニ。水。精。燐。ナ。ト。の。モ。ナ。名。ね。ト。書。テ。  
タ。モ。う。ス。代。ト。キ。鱗。另。モ。わ。ト。ト。莫。木  
ト。ウ。リ。人。形。セ。ト。ア。リ。内。テ。タ。ト。ノ。月。海。中。モ  
ト。ウ。ン。セ。ト。モ。内。ト。シ。ヤ。海。ト。ヒ。ト。シ。ト  
カ。ミ。ス。ホ。也。

ア。ミ。ト。リ。國。津。ア。リ。レ。ム。ア。レ。ハ。す。志。那  
カ。海。ハ。ス。蓮。ノ。名。ホ。也。蓮。ノ。乳。ア。リ。双。乳。ア。リ。ガ  
ミ。リ。の。ア。リ。ソ。リ。の。ソ。リ。ア。リ。志。那。ノ。海。ア。リ。双。乳。ア。リ。ガ  
ミ。ア。リ。蓮。死。嘆。ト。カ。リ。シ。ソ。リ。言。ハ。ト。ア。リ。ア。リ。  
何。ア。リ。ト。ハ。ミ。モ。シ。カ。リ。肩。の。ア。リ。大。宣。那。リ。

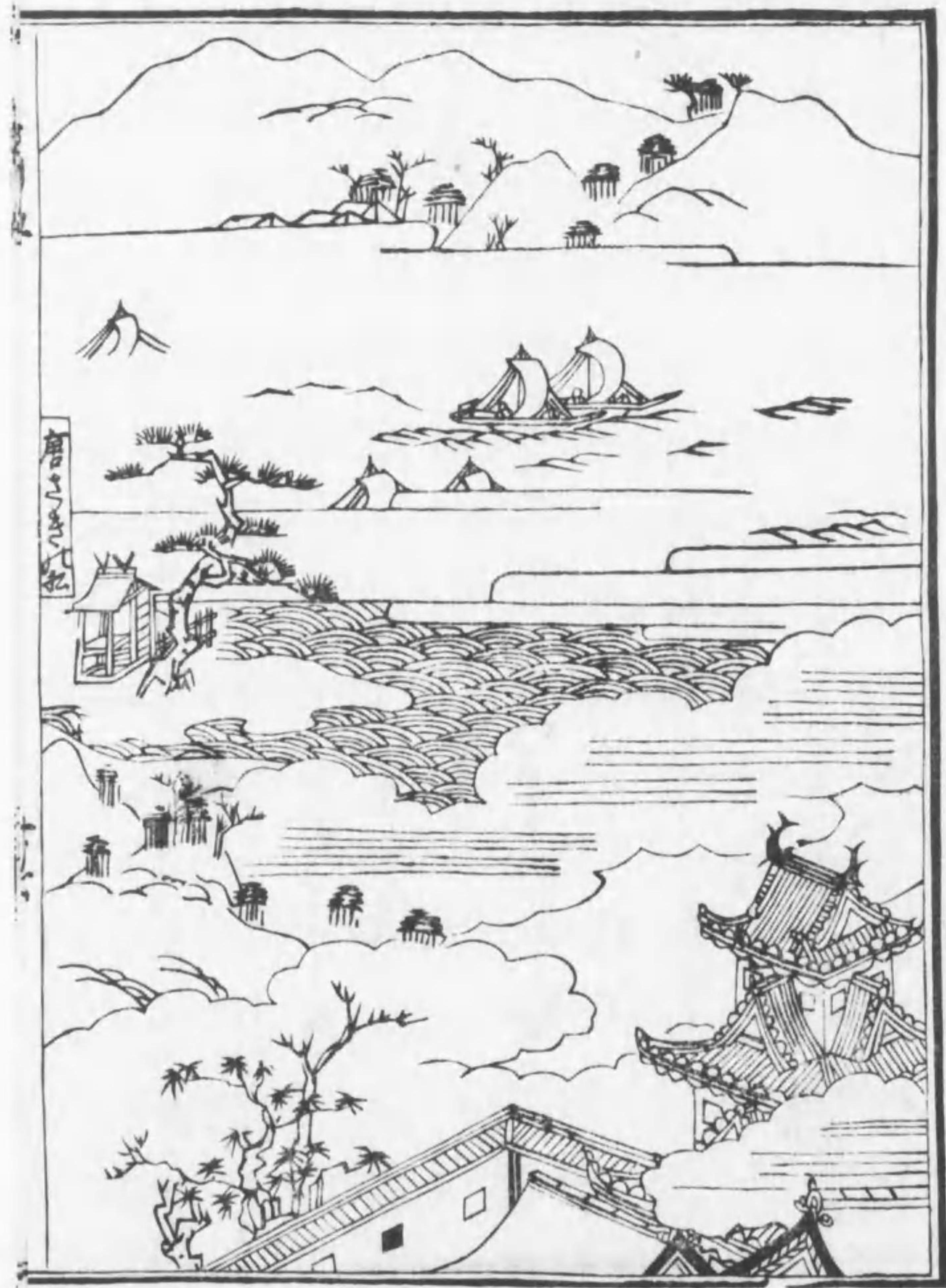
あらま蟹をもろうそ。ひりりヌ都もあらまう。  
筋力あめく。ね山もあめくわやうりて。大きな門を。  
はゆうり毎日もあめく。つ千方百もねう  
す。筋のわみがまくとびらう。ね方た室一不る乃  
つも。かくもさうりて。すすも車わづり。スモ  
さうきだよあて。はまれうりて。ほくとく筋。  
面白ます。うきり形。都方乃のみ事の人。  
おれこりてまじいありて。うる。都下もねふ。  
まう。ばき後生く。字じらけもあら。重もつま  
て。湯里うづ。字派うて。れ政が対ありとす。  
字派うて。うで。こもとまうる。もととくが見  
物うりとく

鳥川村 こまくらうちよつまそほえなう。  
ツノヘリなう。おらかわせね、二三町ぐる  
あ。あると四つや。今井写真、塚玉  
膳所 在の方に八幡乃えあり。み教府御神  
の祠あり。山神の三井ちの御守あり。智證大師  
の龕にて。塔羽うりすく叶。あゆーの翁  
すくねく。我れこれ移居園の神也。佛は新  
うち三井寺のらんまううう  
すくねく。せようううう。ゆくへりうの御守  
田畠尾才比禪とえうせき

山王神社ノ日。彦より伊弉諾とウカ人より來り。  
脇不<sup>アシガタ</sup>ノ名あり也。今既して。ヤドコツ也。波ハ有モ至  
雲満原<sup>クモマツハラ</sup>。又<sup>アリ</sup>本野新仲<sup>ヒロノシノ</sup>と九郎<sup>クニヲ</sup>新仲<sup>シノ</sup>と云ふ  
りて、軍<sup>アーリ</sup>ト<sup>アリ</sup>也。又<sup>アリ</sup>溝<sup>スル</sup>深田<sup>シモダ</sup>馬<sup>マ</sup>とも云ふ。  
起りて、もとそぞもあらずす。まのうひにて、湯矢  
ササギ<sup>ササギ</sup>ト<sup>アリ</sup>。と<sup>アリ</sup>をりて、と<sup>アリ</sup>をりて、と<sup>アリ</sup>を

番馬<sup>サバマ</sup>。小川<sup>コガタ</sup>アリ。而乃方北川<sup>ヒタチカワ</sup>。りく川<sup>リクカワ</sup>と  
ス。河<sup>カワ</sup>ノ<sup>アリ</sup>方<sup>カタ</sup>北<sup>ヒタチ</sup>向<sup>カシマ</sup>りの<sup>アリ</sup>。よ<sup>アリ</sup>本宮<sup>ヒラミツ</sup>也。塚<sup>ツカ</sup>アリ。  
テ<sup>アリ</sup>よ<sup>アリ</sup>棟<sup>カタツムリ</sup>の<sup>アリ</sup>。そ<sup>アリ</sup>。う<sup>アリ</sup>カ深田<sup>シモダ</sup>也。それ  
カ<sup>アリ</sup>。か<sup>アリ</sup>。う<sup>アリ</sup>。此<sup>アリ</sup>項羽<sup>ヒカル</sup>。敵<sup>アキ</sup>ミ乃<sup>アキ</sup>そ<sup>アリ</sup>敵<sup>アキ</sup>も<sup>アリ</sup>。それ  
テ<sup>アリ</sup>。大本<sup>オホタケ</sup>根<sup>ル</sup>。根<sup>ル</sup>と<sup>アリ</sup>。百<sup>ハ</sup>万<sup>ヒ</sup>比<sup>ハ</sup>軍<sup>クニ</sup>無<sup>ハ</sup>  
シ<sup>アリ</sup>。か<sup>アリ</sup>。と<sup>アリ</sup>。血<sup>ミ</sup>ノ<sup>アリ</sup>。剥<sup>ハ</sup>き<sup>アリ</sup>。ハ<sup>アリ</sup>。斧<sup>ハ</sup>ま<sup>ハ</sup>漢<sup>ハ</sup>の

お祖<sup>アキ</sup>まれ。め<sup>アリ</sup>新仲<sup>ヒラミツ</sup>。半<sup>ハ</sup>あ<sup>リ</sup>。や<sup>アリ</sup>。手<sup>アリ</sup>。と<sup>アリ</sup>  
り<sup>アリ</sup>。ひ<sup>アリ</sup>。お<sup>アリ</sup>。い<sup>アリ</sup>。あ<sup>リ</sup>。名<sup>アリ</sup>。う<sup>アリ</sup>。口<sup>アリ</sup>。目<sup>アリ</sup>。  
み<sup>アリ</sup>。仁<sup>アリ</sup>。素<sup>アリ</sup>。と<sup>アリ</sup>。と<sup>アリ</sup>。こ<sup>アリ</sup>。お<sup>アリ</sup>。熱<sup>アリ</sup>。功<sup>アリ</sup>。と<sup>アリ</sup>。増<sup>アリ</sup>  
サ<sup>アリ</sup>。か<sup>アリ</sup>。く<sup>アリ</sup>。け<sup>アリ</sup>。半<sup>ハ</sup>。使<sup>アリ</sup>。と<sup>アリ</sup>。う<sup>アリ</sup>。り<sup>アリ</sup>。う<sup>アリ</sup>。と<sup>アリ</sup>。  
比<sup>アリ</sup>。霞<sup>アリ</sup>。山<sup>アリ</sup>。これ<sup>アリ</sup>。王<sup>アリ</sup>。御<sup>アリ</sup>。鬼<sup>アリ</sup>。門<sup>アリ</sup>。と<sup>アリ</sup>。天<sup>アリ</sup>。左<sup>アリ</sup>。右<sup>アリ</sup>。脚<sup>アリ</sup>。  
一<sup>アリ</sup>佛<sup>アリ</sup>。ま<sup>アリ</sup>。と<sup>アリ</sup>。と<sup>アリ</sup>。と<sup>アリ</sup>。而<sup>アリ</sup>。洞<sup>アリ</sup>。ひ<sup>アリ</sup>。と<sup>アリ</sup>。ゆ<sup>アリ</sup>。せ<sup>アリ</sup>。  
傳教<sup>アリ</sup>。大<sup>アリ</sup>師<sup>アリ</sup>。より<sup>アリ</sup>草<sup>アリ</sup>鉢<sup>アリ</sup>。と<sup>アリ</sup>。ひ<sup>アリ</sup>。リ<sup>アリ</sup>ニ<sup>アリ</sup>千<sup>アリ</sup>木<sup>アリ</sup>。剣<sup>アリ</sup>。  
ら<sup>アリ</sup>。大<sup>アリ</sup>木<sup>アリ</sup>。よ<sup>アリ</sup>。こ<sup>アリ</sup>。う<sup>アリ</sup>。う<sup>アリ</sup>。後<sup>アリ</sup>日<sup>アリ</sup>川<sup>アリ</sup>。院<sup>アリ</sup>。脇<sup>アリ</sup>。も<sup>アリ</sup>  
う<sup>アリ</sup>。ゆ<sup>アリ</sup>の<sup>アリ</sup>。聖<sup>アリ</sup>。春<sup>アリ</sup>。川<sup>アリ</sup>。と<sup>アリ</sup>。又<sup>アリ</sup>。賽<sup>アリ</sup>。と<sup>アリ</sup>。山<sup>アリ</sup>。師<sup>アリ</sup>。  
と<sup>アリ</sup>。う<sup>アリ</sup>。ひ<sup>アリ</sup>。人<sup>アリ</sup>。今<sup>アリ</sup>。脚<sup>アリ</sup>。と<sup>アリ</sup>。う<sup>アリ</sup>。人<sup>アリ</sup>。新<sup>アリ</sup>。の<sup>アリ</sup>。  
と<sup>アリ</sup>。う<sup>アリ</sup>。す<sup>アリ</sup>。ふ<sup>アリ</sup>。と<sup>アリ</sup>。き<sup>アリ</sup>。山<sup>アリ</sup>。權<sup>アリ</sup>。限<sup>アリ</sup>。放<sup>アリ</sup>。止<sup>アリ</sup>。去<sup>アリ</sup>。濃<sup>アリ</sup>。  
と<sup>アリ</sup>。う<sup>アリ</sup>。ひ<sup>アリ</sup>。山<sup>アリ</sup>。キ<sup>アリ</sup>。山<sup>アリ</sup>。ゆ<sup>アリ</sup>。う<sup>アリ</sup>。ゆ<sup>アリ</sup>



大津より來てそにて

しるえ大智天智天御ノ御子大津ノミコトとら。

志賀ノ御とつてこもす。向糸素よ伊勢守宿

乃るがり。そあみの後ハヤマツアリ

吹く小かくちうの風

千載集よ役人

いはやちうの御ハウキアシヒ

ス教古今よ法性まへた木を改木口

さはれも吹アラタハ風

大津ノミコト。輪のミコト。室被キア  
卫教傳木高の住アヒ。仙雲。多羅大師ノ草

錦あり。天智天武御孫。これニ帝。而誕生ア。春陽  
川。此子の井ノタケト。御てもあり。ナカモニ井

新と名ナリ。身アリ也。

町すびり。天御吉子ゆ。章身ア。湖ア  
浦くゆ。天御。この。掌ア。下立ちよ。木とゆ。りん  
波ア。わが。の。の。小室。越ア。お。山。御ア。野  
下石。停ア。わく也。

大津ノ御飯。町す。代町。と。名。大。天。御。室  
乃。明。神。ア。リ。巾。天。御。清。水。ア。リ。捨。遺。集。よ。東。之。ア。  
キ。波。ア。天。御。清。水。ア。リ。舍。遺。集。よ。東。之。ア。

キ。波。ア。天。御。清。水。ア。リ。舍。遺。集。よ。東。之。ア。

今。中。元。年。中。月。の。約。

チ。戴。集。ア。布。京。範。永。明。長。ノ。秋。

わくと崩の月を連ねよやうりしも

今木川えーとほの実

冥ノ御神リ梓九そむすこもや。也。ゆくも  
うもとみすい。神リえうとのキ。也。相模山  
さへきて。琵琶を弾じ。世のどれとあ  
きづけのす。

世ノや。いたくてもわうや。

えふらやもそく。さき。

ニ詠。まよまの唐り。もくや。終う。深草。也  
大室。は。不。良。事。の。か。ね。翁。傳。よ。ち。也。  
信。通。那。と。ま。わ。く。マ。け。よ。や。く。の。作。せ。す  
し。ま。く。ま。も。と。さ。う。り。て。木。琴。と。さ。い。す。

ラ。や。梓九。琵琶。木琴。九。う。す。か。と。ゆ。く。せ。た。ぐ。  
か。り。し。と。セ。波。石。記。ア。麺。喜。ナ。ウ。ハ。け。よ。う。て。や。う。  
され。こ。う。冥。九。ア。リ。と。マ。の。え。河。あ。と。ス。う。ア。  
新。後。撰。集。よ。源。の。活。五。う。手。

僕。空。リ。ま。に。も。わ。て。わ。、ほ。力。

ま。う。れ。る。の。お。ざ。明。力。

葉。葉。葉。よ。多。經。年。ヘ。立。カ。は。大。日。の。秋。

手。手。て。や。れ。立。ゆ。ん。お。ほ。れ。

冥。ノ。ミ。ア。秋。の。ヌ。音。

又。形。後。拾。遺。集。よ。平。以。我。御。院。う。

却。も。そ。す。ら。う。し。る。ま。ほ。力。

園。や。保。の。く。ト。お。め。草。

寒寺（アキニ）にり。小町の小町、うもみちをもじらむ。お姐  
わらわの小町は往來して、乞食とあり。石とての  
壁をさりそそぎ、あじやう。かうとす。まよふ  
てかゆ。と。死やう。不ふ山巌也。市ふ地色也。  
そもそも小町が石塀あり。又至る北葉平羽根日圓列  
了うめり。市ふ地べよゆききれく。テノ上野  
とまゆふが都である。

秋風のうよつりてもあからく  
とつひそらば。草木も落葉とよへてされば。食  
利うべの間より。一ひとのまよせかきく。風も  
まよ葉色也。對年引びて

小町のつまどすきゅひき

と下へが下つともく。お金利（カネリ）とべと。石塀と  
さりそそぎる。小町のうそく。うそく。しり。か  
おりらるや。又室海も高ひ。作とも。お送と去  
書一表わう。小町がさりそそぎとよそそぎり。す  
小町と室海とげせをあつまつ。すつまつ。ま  
せつまつ。うや。小町の友通ひ。房主床のみ  
てすなわの脚深とよそぎ。なまくらり。まの初乃  
内翁。たおとおい山す。あれとままで。お  
とよそ。二三す。うだ界へ。うだ界へ。左乃方うそそ。  
ゆりも。うだまわ。樂何休や。うや。男本が大坂



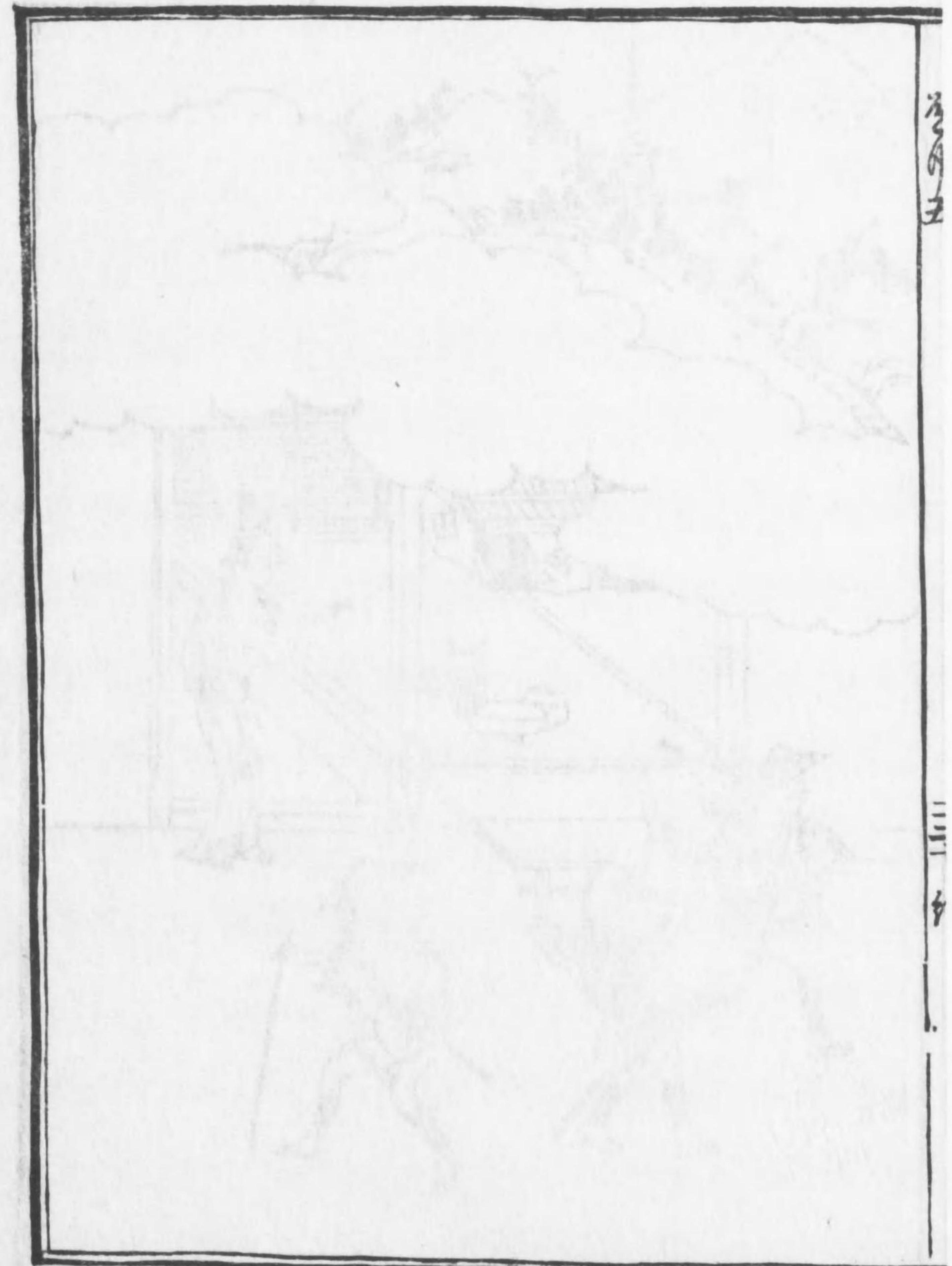
山神とちよひ。狼若（おおかみのわらわ）。おの森とく見え北京  
移へり。あ半のうきよ。前月はうちゆき下りん。  
さうりまへは一人。うとうと日暮（ひぐれ）。せりの狼若（おおかみのわらわ）  
ひよこり。あは西のへばくわく。おこ  
かへり。うつむけしむらやま。かわくみるよ。かわくみるよ。かわくみるよ。  
こやうと遊ぶ。あくのうぎりうひ。まか  
ちをさんざりしき。宿へうまが。御（ご）さん  
こう。男もじき。まゆうしてす。よ。

307  
54

印行三百部之内  
第  
號

書籍複製會  
昭和十一年七月廿五日印刷  
昭和十一年七月廿八日發行  
第一九期  
第一回  
品賣非  
製印形  
本刷者  
行者  
所者  
米山堂

總經理發行者  
東京市牛込區富久町八十四番地  
大坂田清作  
大坂田清作  
池阿部幸二郎郎誠誠  
東京市牛込區富久町八十四番地  
大坂田清作  
總經理發行者  
東京市牛込區富久町八十四番地  
大坂田清作



終